

本校の不祥事防止対策について

本校教職員は、日頃から学校教育に携わる者として、コンプライアンスを意識し、自分の行動に責任をもち、教育活動に専心しています。

しかし、残念ながら県内外の一部の教職員による不祥事が起こるたびに、教育並びに教育公務員に対する信頼が失墜することは誠に遺憾です。本校教職員は、互いを信頼し合い、誇りをもって教育に取り組み続けていきたいと強く願っています。

そこで、校内の不祥事防止対策をあえて明文化し、今後も本校に勤務するすべての教職員が共通認識のもとで行動し、不祥事が生じないようにすることを確認します。

茨城県立土浦特別支援学校長 森 正貴

1 児童生徒の指導に関すること

- 児童生徒の人権を尊重し、個々の個性や特性を十分に理解して指導に当たる。
- 児童生徒の実態を適切に把握し、実態に応じた教材教具を作成・活用して授業を展開する。児童生徒の目線にたった指導を行う。
- 体罰、力による不適切な指導、ハラスメントはしない、させない、許さないという高い意識をもって指導に当たる。
- 児童生徒への指導や相談は、できる限り複数で対応する。指導上やむを得ず一人で対応する場合は、指導内容等（場所、時間を含む）を、部・学年学級・管理職で共有する。
- 「風通しの良い職場環境」の構築を目指し、気になる指導や言動が疑われるときは、部主事や管理職に報告する。
- 「指導の振り返りチェックシート」を活用して、毎月、自分の指導の見直し改善を図る。
- 児童生徒が安全安心な生活が送れるように、保護者及び関係機関等と連携する。

2 児童生徒・教職員の防犯意識の向上に関すること

- 児童生徒が、自分の身を守る力を身に付けることができるように、様々な機会を捉えて、発達段階に応じた防犯教育を実施する。
- 教職員は「One IBARAKI」等を活用した研修を実施し、コンプライアンス意識と防犯意識の向上を常に図る。

3 校内の環境整備に関すること

- 常に整理整頓を心がけ、清潔で安全安心な学習環境を保持する。
- 校内の物品を整理し、破損した箇所はすぐに修繕を行う等、校内の環境整備に努める。
- 教室等は開放的な環境を保ち、教室外から誰もが室内が見えるようにする。
- 資料等の紛失を未然防止するため、日頃より、執務室内及び机上の整理整頓に取り組む。

4 個人情報の取扱い等に関すること

- 個人情報を含むものは、原則校内から持ち出さない。やむを得ず持ち出す際には、個人情報の取扱いに係る校内規定等に従う。
- ヒューマンエラーが生じることを認識し、誤送信及び誤配付の防止のため、個人情報を含むデータを送信する際や文書等を配付する際には、必ず2人以上でダブルチェックする。
 - ・メールアドレスやドメインの入力ミス、メール送信時のBCC設定ミス、添付ファイルの誤り
 - ・郵送等封筒の宛名と中身の不一致

5 コンプライアンス研修等に関する取り組み

- 年間計画に基づき、継続してコンプライアンス研修を実施する。
- 茨城県警察本部からの「交通安全かわら版」等を確認し、日頃から交通安全を心がける。
 - ・交通法規を遵守し、交通事故を起こさない（遭わない）ように運転する。
 - ・余裕をもった出退勤を、常に心がける。
- 飲酒運転は絶対にしない、させない（車を使用している人には飲酒を勧めない）。
 - ・公私を問わず酒席に参加し飲酒する場合は、原則自家用車等を利用せず、家族等による送迎や公共交通機関を利用する。
 - ・飲酒と体内アルコールの分解についての認識をもち、節度ある飲酒を心がける。
- 学校での会計管理、会計事務処理等については、学校徴収金の適正な取扱いや事務処理に基づき、複数の教職員で管理及び事務処理に当たり、迅速適正に行う。